

- SDGs を考えよう/今、豊洲市場として取り組めることは？ -

水産資源や海洋環境に関するワークショップ

## 第4回 「未利用魚の活用について」

～新たなビジネスの可能性を求めて～

【日 時】 令和3年11月26日（金）13：10～15：10

【会 場】 7街区管理施設棟 1階 講堂

13：10～13：15 開会挨拶

13：15～13：40 スピーカーによる基調講演 ①

「未利用魚の活用を考える」～新たなビジネスの可能性を求めて～

東京海洋大学学術研究院 海洋政策文化学部門教授・副学長 婁 小波 氏

13：40～14：00 スピーカーによる基調講演 ②

「未利用魚の可能性」

(公社)日本水産資源保護協会 調査役 田附 りか 氏

14：00～14：10 横浜市中心卸売市場の取り組み紹介

14：10～15：05 パネルディスカッション

15：05～15：10 閉会挨拶

≪主催≫東京魚市場卸協同組合



本日開催の内容はこちらのページより公開致します。  
(東卸組合ホームページ内) 録画映像・報告書・当日資料  
(報告書はおおむね20日前後で公開となります)

## 《登壇者 ご紹介》

### ◆基調講演（スピーカー）



東京海洋大学学術研究院  
海洋政策文化学部門教授・副学長 **妻 小波 氏**

1992年3月京都大学大学院博士後期課程修了、農学博士。1997年4月に鹿児島大学水産学部助教授、1999年10月に東京水産大学助教授、2004年3月東京海洋大学学術研究院海洋政策文化学部門教授、現在に至る。

専門は海洋経済学、水産経済学、地域経済学。水産物流通や沿岸地域資源の利用と管理、沿岸地域の経済振興政策、海洋開発の社会影響評価手法の開発などについて研究中。2019年に豊洲市場講堂において、講演を実施。



(公社)日本水産資源保護協会 調査役 **田附 りか 氏**

日本航空(株)に10年間勤務ののち、(株)水産社に勤務。編集委員として「水産週報」の記事執筆と編集、「水産年鑑」「水産小六法」の編集を担当。時事通信に移籍し、時事水産情報、マスメディアへの出稿も行う。その後、全漁連に勤務し、広報担当及び季刊誌の執筆・編集担当として全国各地の漁協・漁村を取材。現在は、日本水産資源保護協会勤務。水産加工・流通構造改善促進事業ほか協会の事業、季報の編集などを担当。

### ◆他市場の取り組み事例紹介

#### 横浜市中心卸売市場

横浜魚市場卸協同組合 (株)ムラマツ 代表取締役 村松 享 氏

横浜丸魚(株) 執行役員 本社営業一部長兼経営企画室部長 源波 秀樹 氏

### ◆市場関係者（パネラー）

(東卸組合) 副理事長 山崎 康弘 (株)山治)、常務理事 難波 昭信 (有)ナンバ水産)、  
(有)倉田商店 代表取締役 倉田 俊之 氏

(卸会社) 中央魚類(株) 代表取締役 伊藤 晴彦 氏

(市場関係) OAFIC(株) 海洋科学博士 阿高 麦穂 氏

### ◆進行・コーディネーター



東卸組合・アドバイザー **江口 慎一 氏**

(株式会社 鞆 代表取締役)

農水産物・食品の国内外販売、大手食品プロジェクト等を行っているほか、農水産食品の流通・活性化のサポーターとして、生産産地や卸売市場、日本政策金融公庫農林水産事業本部、日本プロ農業総合支援機構(J-PAO)、複数自治体の農林水産・食品部門のアドバイザー等にも従事。ジェットロ農林水産物・食品輸出促進本部長、経済産業省大臣官房参事(民間非常勤)、政府委員なども歴任。